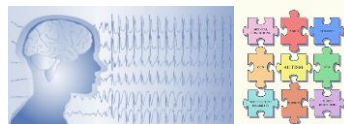


2022年度てんかん地域診療連携体制整備事業
てんかん診療コーディネーター研修会

2022年8月7日（日）10：00～14：30

てんかん地域診療連携体制整備事業
てんかん診療コーディネーター研修会

国立精神・神経医療研究センター病院
てんかん診療部、総合てんかんセンター
中川栄二



2022年度てんかん診療支援コーディネーター研修会

てんかん診療支援コーディネーター研修会プログラム（各講演研修30分）

1. 全国てんかん地域診療支援整備事業の現況／NCNPてんかん診療部
中川 栄二
1. てんかんの疫学／NCNP小児神経診療部 齋藤 貴志
2. てんかん外科／NCNP脳神経外科診療部 岩崎 真樹
3. てんかんと循環器疾患／NCNP循環器内科 瀬川 和彦

12時～12時半休憩

5. てんかんの遠隔医療／大阪市立総合医療センター 岡崎 伸
6. てんかんと睡眠、発達障害／山梨大学小児科 加賀 佳美
7. 成人のてんかんと発達障害／NCNPてんかん診療部 宮川 希
8. てんかんの看護／NCNP看護部 三澤 有紀

15時～

2022年度第1回全国てんかん対策連絡協議会
ZOOMミーティングで開催



研修会受講にあたっての注意事項

- ・8/5（金）までに事前登録されていない方には、今回の研修会の受講証は発行しません。
- ・受講証書は、メールで受講証書の発行を依頼していただいた方のみ発行になります。
- ・受講証は各回ごとに速やかに発行申請をお願いします。次回受講時に前回の受講証は発行いたしかねます。
- ・ウェビナー退出時にアンケートのご協力をお願いします。後日お送りするフォローアップメールにもリンクを掲載しますのでそちらからの回答も可能です。

A1 てんかん診療支援コーディネーター に関するアンケート

R4年度第1回てんかんコーディネーター研修会参加者のみなさま

今回の研修会やてんかん診療支援コーディネーターの業務に関して、アンケートを実施しております。
アンケートの結果は、学会等あるいは学術誌上で発表し、今後のコーディネーターの活動に関する議論の基礎的な資料とさせていただきます。

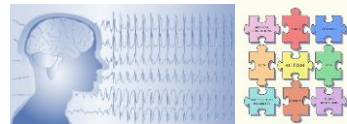
ご回答はお一人につき一度だけお願いします。また、回答が終わったあと、後からの修正はできません。また、本アンケートでは、回答者のお名前、所属施設、メールアドレスなどの個人情報の収集は行いません。

ご多忙のところとは存じますが、是非ご協力いただきますようお願い申し上げます。

てんかん地域診療連携体制の現状

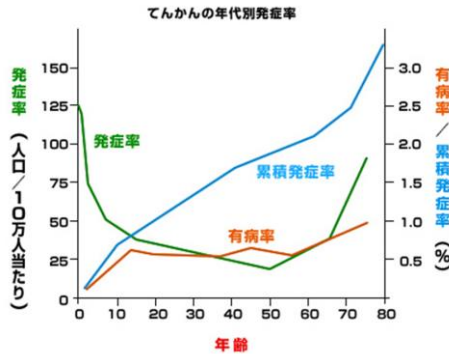
NCNP 厚労省全国てんかん診療拠点

The National Organizer of Designated Institutions for Epilepsy Care



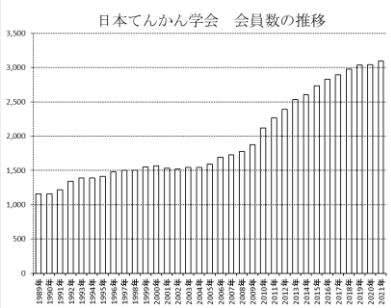
てんかん患者数、増加傾向か減少傾向か、治療の現状

- てんかんは、小児から高齢者まで、どの年齢でも誰でもが発症する可能性がある患者数の多い病気（**0.8～1%：本邦約100万人**）
- 特に**高齢者の発症率は高く**、高齢者人口の増加しているわが国では、今後更にてんかん医療の必要性が増加する
- てんかん患者の7～8割は適切な内科的・外科的治療により発作が抑制され、日常生活や就労を含む社会生活を営むことが可能である
- わが国では**成人てんかんを診る専門医**が不足している
- **てんかんに対する知識不足と偏見**から、患者の社会進出が妨げられている



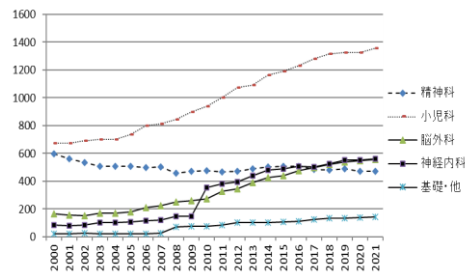
Haut SR, et al. Lancet Neurol. 2006 5(2):148-157

日本てんかん学会 会員数・専門医数の変化



会員の専門割合2021/9/1現在

	2020.9	2021.9
小児科	1327	1357
精神科	473	472
神経内科	553	563
脳神経外科	549	558
基礎・医師以外	141	145
合計	3043	3095 (人)

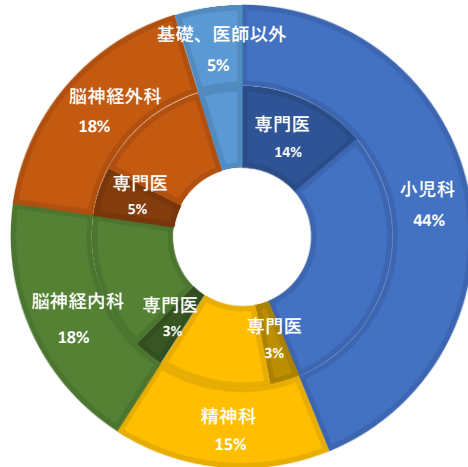


てんかん専門医の専門割合2021/9/1現在

	2020.9	2021.9
小児科	391	428
精神科	99	98
神経内科	86	104
脳神経外科	140	163
基礎・医師以外	0	0
合計	716	793 (人)

2021年度日本てんかん学会社員総会資料より作成

日本てんかん学会会員構成

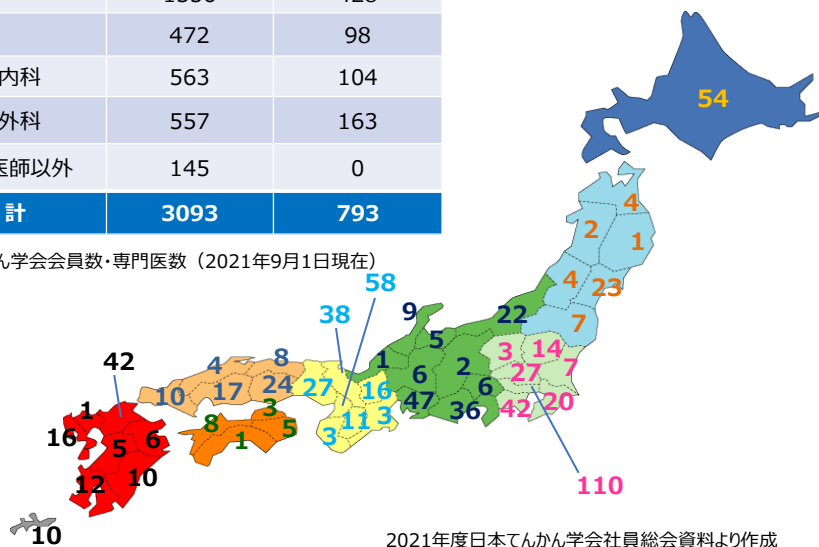


日本てんかん学会会員構成 (2021年9月1日現在)
2021年度日本てんかん学会社員総会資料より作成

都道府県別のてんかん専門医

診療科	会員数 (人)	専門医数 (人)
小児科	1356	428
精神科	472	98
脳神経内科	563	104
脳神経外科	557	163
基礎・医師以外	145	0
計	3093	793

てんかん学会会員数・専門医数 (2021年9月1日現在)



2021年度日本てんかん学会社員総会資料より作成

てんかん地域診療連携体制整備事業

厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 精神・障害保健課

てんかん患者が、地域において適切な支援を受けられるよう、てんかん診療における地域連携の在り方を提示し、てんかん拠点医療機関間のネットワーク強化により全国で均一なてんかん診療を行える体制を整備。

現状と課題

平成30年度（2018年）からの第7次医療計画により、各都道府県において、多様な精神疾患等に対応できる医療連携体制の構築に向けて、「良質かつ適切な精神障害者に対する医療の提供を確保するための指針」を踏まえて、多様な精神疾患等ごとに医療機能を明確化することされており、全国拠点機関として国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センターを、てんかん診療拠点機関として8箇所の都道府県を指定し、各都道府県のてんかんの医療連携体制の構築に向けて、知見の集積、還元、てんかん診療のネットワーク作り等を引き続き進めていく必要がある。

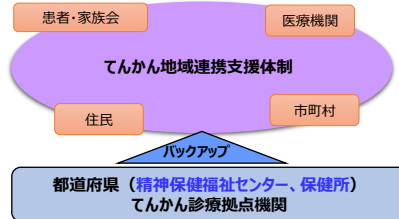
事業概要

【地域】

てんかんの特性や支援方法に関する知識が浸透するよう取り組むとともに、市町村、医療機関等との連携を深化し、患者・家族への相談支援や啓発のための体制を充実すること等により、適切な医療につながる地域の実現を目指す。

【都道府県（精神保健福祉センター、保健所）・てんかん診療拠点機関】

第7次医療計画に基づいて、「都道府県拠点機能」「地域連携拠点機能」「地域精神科医療提供機能」を有する医療機関を指定し、都道府県との協働によって、てんかんに関する知識の普及啓発、てんかん患者及びその家族への相談支援及び治療、他医療機関への助言・指導、医療従事者等に対する研修、関係機関との地域連携支援体制の構築のための協議会を開催する。また、てんかん診療支援コーディネーターを配置し、てんかん患者及びその家族に対し、相談援助を適切に実施する。



【国・全国拠点（全国拠点機関）】

各てんかん診療拠点機関で得られた知見を集積し、てんかん診療における地域連携体制モデルを確立すると共に、都道府県・各診療拠点機関への技術的支援を行う。



期待される成果

- ① 地域住民や医療従事者に対して、てんかんに関する正しい知識の普及
- ② てんかん診療における地域連携体制構築、てんかん診療の均てん化

3

てんかん地域診療連携：移行期医療



新生児期・乳幼児期・学童期

思春期・成年期

高齢期

てんかん患者の脳波・画像・代謝・発達・遺伝学的診断
内科的治療・外科的治療

精神運動発達遅滞・発達障害・精神症状への対応支援



福祉・就学・就労・社会適応への対応

小児医療から成人医療への連携

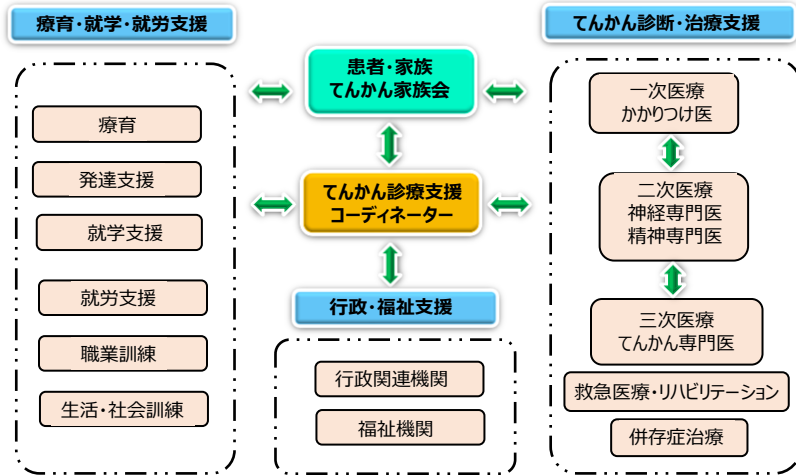
女性の妊娠・出産への対応

施設間合同検討による
適切な診断・治療選択、
地域連携



中川栄二. 精神科. 36 (6) 2020.
中川栄二. CLINICIAN. 20 (681) ; 2020.

てんかん診療支援コーディネーターの役割



中川栄二. 精神科. 36 (6) 2020. 中川栄二. CLINICIAN. 20 (681) ; 2020.
 国立精神・神経医療研究センター病院. 患者のギモンに答える! てんかん診療のための相談サポートQ&A. 2021.

てんかん地域診療連携体制整備事業（厚労省、自治体）における てんかん診療コーディネーター認定制度の整備

てんかん診療支援コーディネーター認定制度

(目的)

てんかん地域診療の裾野を広げるため、てんかん患者・家族と医療機関、福祉、行政機関との橋渡しを行う

(対象)

てんかん地域診療機関ならびに連絡協議会に属する協力機関・施設（医療、福祉、行政）において、**てんかん診療に携わる何らかの国家資格を有するもの**

(認定のための基本)

基本ポイント（研修会：3時間以上の講義）

- ① てんかん地域診療連携体制整備事業が行う研修会（年2回開催）
- ② 全国てんかんセンター協議会（JEPICA）が行う総会2日間への参加（年1回開催）
- ③ 地域てんかん診療拠点機関が行う研修会
- ④ てんかん学会、国際抗てんかん連盟関連の学会、地方会

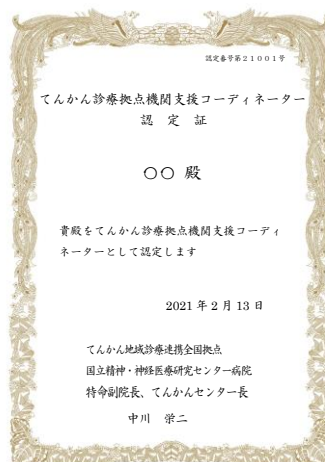
上記3回の講座受講で認定証を発行する。以降3年間に上記の研修会、学会に6回以上の参加を基本とする。3年ごとに更新する。2020年度から暫定認定証を発行。

てんかん診療拠点講習会

2022年8月7日（日）、2022年12月11日（日）、2023年2月10-12日JEPICA宇都宮

てんかん診療支援コーディネーター受講証ならびに認定証は全国てんかん拠点機関が発行する

NCNP てんかん診療全国拠点機関_HPより



受講証書発行数
 2020年度：148名
 2021年度：122名 計270名

認定証発行数
 2020年度：6名
 2021年度：32名 計38名

NCNP てんかん診療全国拠点機関 HPより

夢と理想の実現に向けて

会期 2022年9月20日(火)～9月22日(木)

会場 仙台国際センター＋ライブ配信
 オンデマンド配信(教育講演の一部のみ) 2022年10月1日(土)～10月31日(月)

会長 中里 信和 (東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野 教授)

副会長 富永 悌二 (東北大学大学院医学系研究科神経外科学分野 教授)
 青木 正志 (東北大学大学院医学系研究科神経内科学分野 教授)
 富田 博秋 (東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野 教授)

てんかんセンター これまでの10年とこれからの10年

第10回 JEPICA 2023 栃木大会

全国てんかんセンター 協議会総会

2023年2月10日(金)~12日(日)

会場 宇都宮駅東口交流拠点施設

会長 川合 謙介 自治医科大学脳神経外科 教授

The 56th Annual Congress of the Japan Epilepsy Society

第56回日本てんかん学会学術集会

会長 中川 栄二 国立精神・神経医療研究センター病院 特命副院長/てんかん診療部長/総合てんかんセンター長

副会長 山内 秀雄 埼玉医科大学 医学部小児科教授/てんかんセンターセンター長

加藤 昌明 むさしの園分寺クリニック 院長

岩崎 真樹 国立精神・神経医療研究センター病院 脳神経外科 部長/総合てんかんセンター

大会事務局 谷口 豪 国立精神・神経医療研究センター病院 てんかん診療部 医員/総合てんかんセンター
事務局長

誰もとり残さない医療へ

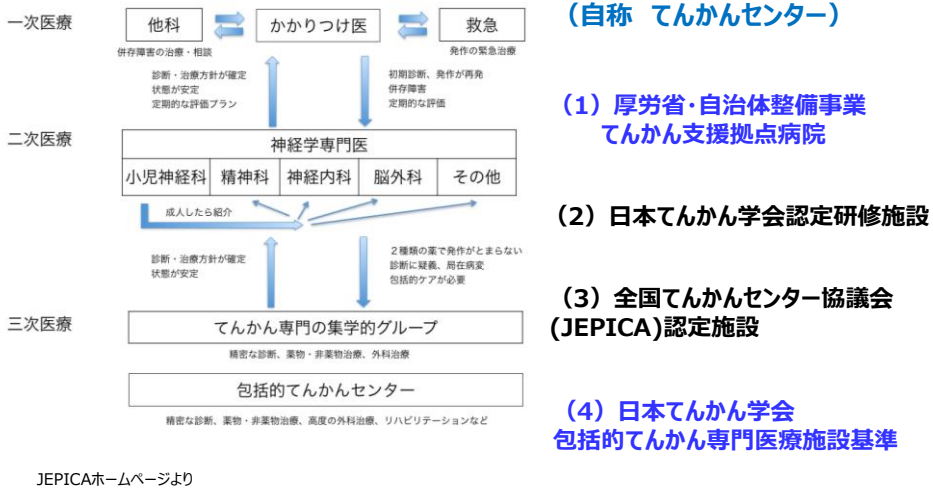
Leave no epilepsy patient behind

2023.10/19 Thu.-10/21 Sat.

京王プラザホテル(東京)

てんかんセンターに関する問題点 様々なてんかんセンターがあり、わかりにくい

てんかん医療のシステム



(1) 厚労省・自治体てんかん支援拠点病院要件

てんかん支援拠点病院の選定は、各都道府県が厚生労働省と協議の上、てんかんの治療を専門に行っている管内の医療機関のうち、次に掲げる要件を全て満たす医療機関 1 か所をてんかん支援地域拠点病院として指定している。

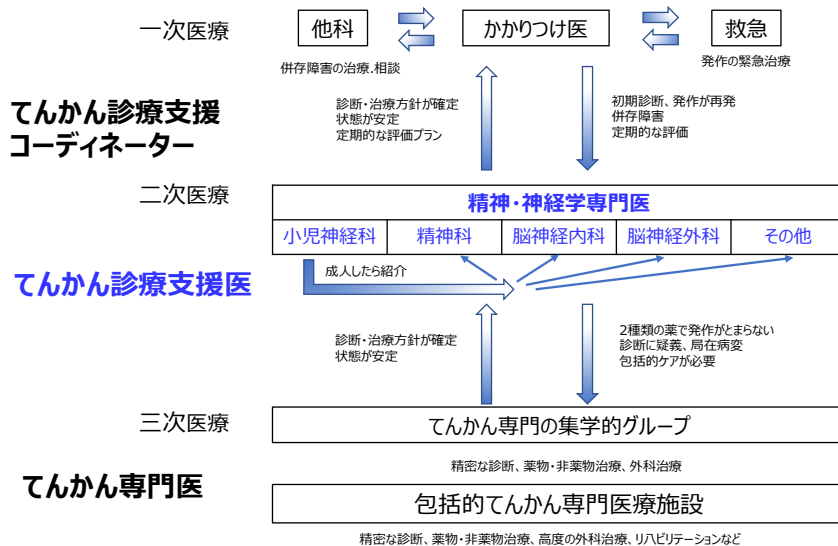
- ① 日本てんかん学会、日本神経学会、日本精神神経学会、日本小児神経学会、又は日本脳神経学会が定める専門医が 1 名以上配置されていること
- ② 脳波検査やMRI が整備されているほか、発作時ビデオ脳波モニタリングによる診断が行えること
- ③ てんかんの外科治療のほか、複数の診療科による集学的治療を行えること、がてんかん支援拠点病院の要件となっている

(4) 包括的てんかん専門医療施設基準

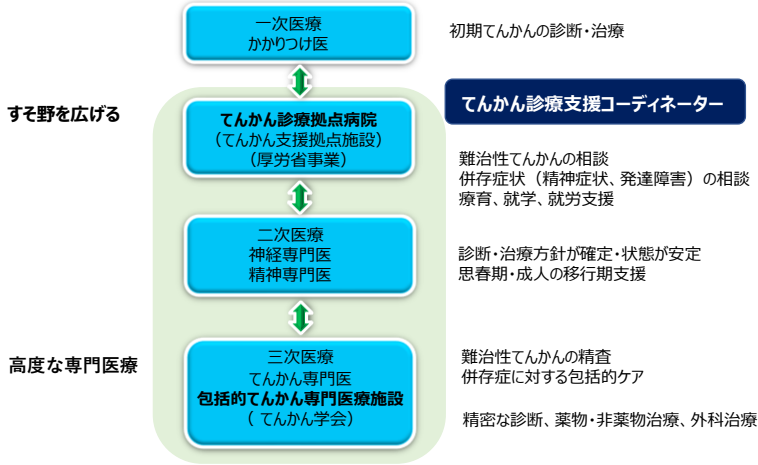
高度で集学的医療を行う真の意味でのてんかんセンター

- 1) 日本てんかん学会認定研修施設
- 2) あらゆる年齢に対応できる専門的なてんかん診療を行っている
日本精神神経学会、日本神経学会、日本脳神経外科学会、日本小児神経学会が認定する常勤の専門医が各1名以上おり、それぞれは日本てんかん学会が認定する専門医ないし日本てんかん学会主催の教育的セミナーを受講した者
- 3) 長時間ビデオ脳波同時記録検査に基づくてんかん診断（年間50件以上）
- 4) MRI装置を常備する施設であること。
- 5) てんかん医療を運営するための委員会会議の定期的開催（年間3回以上）
委員は医師、看護師、臨床検査技師、MSW or PSW、てんかん診療支援コーディネーター、連携医療事務
- 6) てんかん医療に携わる多職種合同てんかん症例検討会の実施（月1回以上）
- 7) 診療実績が下記の①～④すべてを満たすこと
 - ① てんかん手術の常時実施（10例以上）
 - ② けいれん重積状態に対する入院管理の常時実施
 - ③ てんかんに併存する精神医学的問題に対する専門的診断および診療の常時実施
 - ④ 指定難病・小児慢性特定疾患に合併した薬剤治療抵抗性てんかんの診療の常時実施

てんかん医療のシステム



てんかん診療支援の流れ



NCNP てんかん診療全国拠点機関 HPより

国立研究開発法人
国立精神・神経医療研究センター
National Center of Neurology and Psychiatry

英語版の方 大学・企業の方 一般の方 <ご寄付のお願い> 情報公開 調達情報

NCNPについて 研究所 NCNP病院 トピックス インフォメーション アクセス 採用情報 リンク集

重要なお知らせ COVID-19支援情報:コロナに負けない心のケア

NCNPは最先端の医療・研究で脳とこころの病の克服に取り組むナショナル・センターです。
National Center of Neurology and Psychiatry

研究
に関心がある方

- 精神保健研究所
- 神経研究所
- TMC (トランスレーショナル・メディカルセンター)
- MGC (メディカル・ゲノムセンター)
- IBIC (脳画像統合イメージングセンター)
- CBT (認知行動療法センター)

医療
に関心がある方

NCNP病院

臨床研究者委員会 摂食障害全国支援センター てんかん全国支援センター 治療・臨床研究について PADNI (パドニ) パーキンソン病とアルツハイマー病を対象とした臨床研究 団

NCNPバイオバンク 行政関連資料

NCNP てんかん診療全国拠点機関 HPより



てんかん全国支援センター

国立精神・神経医療研究センター病院てんかんセンターは、
てんかん診療における地域連携体制モデルの確立を行うことを
目的とした「てんかん全国支援センター」に指定されています。

- てんかん地域診療連携体制整備事業について
- てんかん支援拠点病院のご案内
- てんかん全国支援センターについて
- てんかん診療支援コーディネーター認定制度
- 活動報告
- 事業報告
- 関係機関へのリンク

当センターでは、てんかん治療や相談支援、普及活動などのほか、全国支援センターとして、各支援拠点病院から集積したデータの分析・評価、地域連携や支援体制のモデルの研究・開発、全国てんかん対策連絡協議会の設置などを行なっています。

てんかん診療支援コーディネーター認定制度

Epilepsy Support Network JAPAN
てんかん支援ネットワーク

総合てんかんセンター

てんかんについて

新着情報


22.04.25	2022年度第1回てんかん診療支援コーディネーター研修会と全国てんかん対策連絡協議会を開催します。 〔開催日：2022年8月7日（日）〕 ZOOMウェビナー形式 申込締切日：8月5日（金）
22.04.01	事業報告を更新しました
22.01.04	活動報告を更新しました
21.10.15	2021年度第2回てんかん診療支援コーディネーター研修会と全国てんかん対策連絡協議会を開催します 〔開催日：2021年12月12日（日）〕 ZOOMウェビナー形式 申込締切日：12月9日（金）
21.09.15	てんかん診療拠点機関が追加になりました NCNP てんかん診療全国拠点機関 HPより

てんかん支援ネットワーク構築

てんかん支援ネットワーク

MENU

- ホーム
- 一般の方へ
ご家族の方へ
- てんかん医療に
関わっている方へ
- てんかん支援
ネットワーク施設一覧



てんかん 支援 ネットワーク

このサイトはてんかんの地域診療連携の推進を目的として
厚生労働省・都道府県およびてんかん学会・てんかん協会の支援を
下にてんかん地域診療連携体制整備事業により運営されています。

お知らせ
Information


2021/03/00 ホームページをリニューアルしました。









946施設登録
診療科ごとの全掲載数 **1059**
内訳：小児・小児神経科365
脳神経外科254、脳神経内科245
精神科174、てんかん科5、その他16
てんかんを診療をしている医師数 **1254**
2022/01/26 現在

NCNP てんかん診療全国拠点機関 HPより

てんかん支援ネットワーク施設一覧 Network

※但し、てんかんの診療次元が二次診療以上と自己申告している施設



 北海道	 東北	 関東・甲信越	 中部・北陸
 近畿	 中国	 四国	 九州・沖縄

てんかん支援ネットワーク

[サイトポリシー](#) | [お問い合わせ](#)

NCNP てんかん診療全国拠点機関 HPより

てんかん支援ネットワーク

MENU

[ホーム](#)

[一般の方へ/
ご家族の方へ](#)

[てんかん診療に
関わっている方へ](#)

[てんかん支援
ネットワーク施設一覧](#)



てんかん支援ネットワーク 施設一覧

Network

てんかん支援ネットワーク施設一覧には、都道府県ごとにてんかんの専門診療が可能な施設が郵便番号順に掲載されています。受診を希望される際には、てんかんという病気に関する情報、専門医に関する情報、及び各施設のホームページなどを参考にして、お近くのクリニックや病院の窓口にご直接お問い合わせ下さい。

 関東・甲信越

栃木県	群馬県	茨城県	埼玉県	千葉県	東京都	 神奈川県
新潟県	長野県	山梨県				

NCNP てんかん診療全国拠点機関 HPより

神奈川県 医師数：てんかんを診療をしている医師数

施設名	医師数	診療科	〒	施設住所	電話番号
川崎市立川崎病院 神経内科	1	神経内科	210-0013	神奈川県川崎市川崎区新川通12-1	044-233-5921
川崎市立井田病院 脳神経外科	1	脳神経外科	211-0035	神奈川県川崎市中原区井田2-27-1	044-766-2188
関東労災病院 脳神経外科	1	脳神経外科	211-8510	神奈川県川崎市中原区木月住吉町1-1	044-411-3131
日本医科大学 武蔵小杉病院 脳神経外科	1	脳神経外科	211-8533	神奈川県川崎市中原区小杉町1-396	044-733-5181
総合高津中央病院 神経内科	1	神経内科	213-0001	神奈川県川崎市高津区溝口1-16-7	044-822-6121
てんかん診療クリニック、病院の登録をお願いします					
川崎市立多摩病院 小児科	1	小児科	214-8525	神奈川県川崎市多摩区宿河原1-30-37	044-933-8111
新百合ヶ丘総合病院 脳神経外科	1	脳神経外科	215-0026	神奈川県川崎市麻生区吉沢都吉255	044-322-9991
聖マリアンナ医科大学病院 小児科・新生児科	2	小児科・新生児科	216-8511	神奈川県川崎市宮前区糞生2-16-1	044-977-8111
聖マリアンナ医科大学病院 脳神経内科	2	脳神経内科	216-8511	神奈川県川崎市宮前区糞生2-16-1	044-977-8111
てんかんと発達のおぼろげの神経クリニック	1	神経内科	222-0033	神奈川県横浜市港北区新横浜2 6 16	045-471-1082
港北エヌティークリニック	1	脳神経外科	224-0021	神奈川県横浜市都筑区北山田7-12-20 KNTCビル2F	045-593-0505
市ヶ尾病院	1	神経内科	225-0024	神奈川県横浜市青葉区市ヶ尾町23-1	045-511-7811
横浜総合病院 小児神経科	1	小児科	225-0025	神奈川県横浜市青葉区鉄町2201-5	045-902-

NCNP てんかん診療全国拠点機関 HPより

令和4年度診療報酬改定 Ⅲ-4-5 難病患者に対する適切な医療の評価-⑥

難病患者又はてんかん患者の診療における医療機関間の情報共有・連携の推進

➤ 地域の診療所等が、指定難病患者又はてんかん患者（当該疾病が疑われる患者を含む。）を専門の医療機関に紹介し、紹介先の医療機関においても継続的に当該患者に対する診療を行う場合であって、紹介元の診療所等からの求めに応じて、診療情報を提供した場合の評価を新設する。

（新）連携強化診療情報提供料 150点

【算定要件】

他の保険医療機関から紹介された患者について、他の保険医療機関からの求めに応じ、患者の同意を得て、診療状況を示す文書を提供した場合に、提供する保険医療機関ごとに患者1人につき月1回に限り算定する。

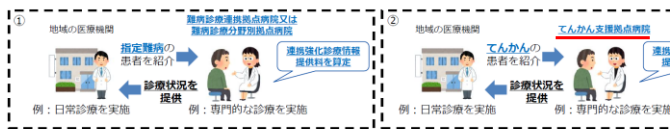
【対象患者】

- 他の保険医療機関から紹介された指定難病の患者又はてんかんの患者（当該疾病が疑われる患者を含む。）

【施設基準】

- 当該保険医療機関の敷地内において喫煙が禁止されていること。
- 次のいずれかの指定を受けている保険医療機関であること。
 - 難病診療連携拠点病院又は難病診療分野別拠点病院（指定難病の患者に係る場合に限る。）
 - てんかん支援拠点病院（てんかんの患者に係る場合に限る。）

てんかん支援拠点病院が、紹介元に逆紹介するとき求めに応じて診療情報を提供した場合、算定できるようになりました。



250

出典：厚労省 令和4年度診療報酬改定説明資料 令和4年3月4日

知的障害を有するてんかん患者の診療に係る遠隔連携診療料の見直し

遠隔連携診療料の評価等の見直し

- 遠隔連携診療料の対象患者に、知的障害を有するてんかん患者が含まれることを明確化し、知的障害を有するてんかん患者について、かかりつけ医とてんかん診療拠点病院等の医師が連携して当該患者に対する診療を継続する場合の評価を新設する。

現行	改定後
【遠隔連携診療料】 500点 【算定要件】 注1 略 (新設) 【施設基準】 (2) 遠隔連携診療料の対象患者 イ (略) <input type="checkbox"/> てんかん（外傷性のてんかんを含む。）の疑いがある患者	【遠隔連携診療料】 (改) 1 診断を目的とする場合 750点 (改) 2 その他の場合 500点 【算定要件】 注1 略 2 2については、別に厚生労働大臣が定める施設基準を満たす保険医療機関において、 てんかん（知的障害を有する者に係るものに限る。）の治療を行うことを目的として、患者の同意を得て、てんかんに関する専門的な診療を行っている他の保険医療機関の医師に事前に診療情報提供を行った上で、当該患者の来院時に、情報通信機器を用いて、当該他の保険医療機関の医師と連携して診療を行った場合に、当該診療料を最初に算定した日から起算して1年を限度として、3月に1回に限り算定する。 【施設基準】 (2) 遠隔連携診療料の対象患者 イ (略) <input type="checkbox"/> てんかん（外傷性のてんかん及び 知的障害を有する者に係るもの を含む。）の疑いがある患者

249

オンライン診療（遠隔診療）とは、（スマートフォン・タブレット・PC上で）リアルタイムのコミュニケーションが可能な情報通信機器を用いて行う診察や医学管理のこと

出典：厚労省 令和4年度診療報酬改定説明資料 令和4年3月4日

情報通信機器を用いた医学管理等に係る評価の見直し

医学管理等に係る評価の見直し

- 現行においても情報通信機器を用いた場合の点数が設定されているが、評価の見直しを行った医学管理等（医学管理料）

- 今回新たに、情報通信機器を用いて行った場合の医学管理等（医学管理料）について評価を行ったもの

現行の対面診療における評価		情報通信機器を用いた場合の評価	
B000 特定疾患療養管理料			
1 診療所の場合	225点	196点	
2 許可病床数が100床未満の病院の場合	147点	128点	
3 許可病床数が100床以上200床未満の病院の場合	87点	76点	
B001 5 小児科療養指導料	270点	235点	
B001 6 てんかん指導料	250点	218点	
B001 7 難病外来指導管理料	270点	235点	
B001 27 糖尿病透析予防指導管理料	350点	305点	
C101 在宅自己注射指導管理料			
1 複雑な場合	1,230点	1,070点	
2 1以外の場合			
イ 月27回以下の場合	650点	566点	
ロ 月28回以上の場合	750点	653点	

現行の対面診療における評価		情報通信機器を用いた場合の評価	
B001 1 ウイルス疾患指導料			
ウイルス疾患指導料 1	240点	209点	
ウイルス疾患指導料 2	330点	287点	
B001 8 皮膚科特定疾患指導管理料			
皮膚科特定疾患指導管理料 (I)	250点	218点	
皮膚科特定疾患指導管理料 (II)	100点	87点	
B001 18 小児慢性疼痛患者指導管理料	550点	479点	
B001 22 がん性疼痛緩和指導管理料	200点	174点	
B001 23 がん患者指導管理料			
イ 略	500点	435点	
ロ 略	200点	174点	
ハ 略	200点	174点	
ニ 略	300点	261点	
ホ 略	290点	252点	
B001 24 外来緩和ケア管理料			
B001 25 移植後患者指導管理料			
イ 臓器移植後の場合	300点	261点	
ロ 造血幹細胞移植後の場合	300点	261点	
B001 31 腎代替療法指導管理料	500点	435点	
B001-2-3 乳幼児育児栄養指導料	130点	113点	
B001-9 療養・就労自立支援指導料			
1 初回	800点	696点	
2 2回目以降	400点	348点	
B005-6 がん治療連携計画策定料 2	300点	261点	
B005-6-4 外来がん患者在宅連携指導料	500点	435点	
B005-8 肝臓インターフェロン治療計画料	700点	609点	
B008-2 薬剤総合評価調整管理料	250点	218点	

222

出典：厚労省 令和4年度診療報酬改定説明資料 令和4年3月4日

令和4年度厚生労働省障害者総合福祉推進事業

てんかん診療と支援の実態及び地域連携の好事例に関する検討

事業概要：

てんかん診療を行っている病院に対して治療実態に関する調査を行う。
てんかん診療体制の均てん化に資する、現状分析と課題の整理、今後の診療や連携、普及啓発に関する検討を行う

手法：

- 質問紙調査
- ヒアリング
- 会議体での検討

対象：

- てんかんの診療に関わる全国の医療機関
- てんかん診療拠点病院や設置自治体

内容：

- 治療の実態について調査等の集計・整理と分析、課題整理
- てんかん診療拠点における医療機関及び多分野・多職種の連携に関する **実態の把握** と好事例の収集

アンケート調査（実態調査）

てんかん診療に関わる全国の医療機関

- てんかん支援拠点病院
- てんかん診療ネットワーク掲載病院（946施設）
- 大学病院（国公立・私立）
- てんかん学会認定研修施設
- 小児神経学会認定施設

→ 1,400施設にアンケート送付



9月1日発送予定 紙もしくはWebで回答可 各診療科ごとにご回答ください

「令和4年度厚生労働省障害者総合福祉推進事業
てんかん診療と支援の実態及び地域連携の好事例に関する検討」アンケート

回答方法は【 】に数字や文字を入力し、当てはまる選択肢の□に○（チェック）を入れてください。

実施区分（※必須）【 】
回答者名（※必須）【 】
施設における立場（※必須）【 】
診療科（※必須）【 】

Q1 施設情報

Q1-1 貴施設の規模
□診療科（施設） □診療科（有床） □病院（以下省略）99床以下 □100-199床 □200-299床
□300-399床 □400-499床 □500床以上 □その他【 】

Q2 てんかん診療体制（診療科、診療体制についてご回答をお願いします。）

※回答者数数、不明は該当しない回りとご回答ください。

Q2-1 昨年度のてんかん外来患者数（年総数）※【 】人

Q2-2 昨年度のてんかん再発患者数（1日あたり平均）※【 】人
（既発外来日の数に2割で、1割に20人未満の場合には10人と計算）

Q2-3 昨年度のてんかん入院患者数（年総数）※【 】人

Q2-4 昨年度のてんかん直入院患者数（1日あたり平均）※【 】人

Q2-5 エピタキ監視モニタリング施行患者数（年総数）※【 】人

Q2-6 エピタキ監視モニタリング施行一回数（不明な場合は約日と記載）【 】日

Q3 昨年度のてんかん外科手術年間総数情報

※ 発生が脳神経外科に所属する場合のみご回答ください。
1. 開頭手術回数【 】件 2. 開頭手術外注費回帰率（開頭手術を含む）【 】件
3. 全身麻酔・呼吸器【 】件 4. 手術室稼働・呼吸器【 】件 5. 脳神経麻酔【 】件
6. 遠隔医療回数【 】件 7. MDT（※必須）【 】 8. 慢性薬内服薬処方回数【 】件
9. 遠隔診療機器管理の込み込み【 】 10. ガンマナイフ【 】件
11. その他（具体的に）：電磁誘起、IPG交換（ ）【 】件

Q3-1a 脳手術はこの医療機関が一番多いでしょうか。
□ 同じ市町村域内・同じ都道府県内 □ 近隣の都道府県 □ その他【 】

Q4 地域連携・難治・教育上の連携

Q4-1 昨年度、地域連携会議/連携協議会を開催/参加しましたか？

□開催していない/参加していない □開催した/参加した
□開催した/参加した（年々【 】）
□わからない

Q4-2 過去3年間、市町村への連携会議/協議会を開催/参加しましたか？

□開催していない/参加していない □開催した/参加した
□わからない

Q4-3 過去3年間、地域の医療関係者向けに講演会/研修会を開催/参加しましたか？

□開催していない/参加していない □開催した/参加した
□わからない

Q4-4 過去3年間、地域の福祉関係者向けに講演会/研修会を開催/参加しましたか？

□開催していない/参加していない □開催した/参加した
□わからない

Q4-5 過去3年間、福祉関係者を含めたケース会議/ケア会議を開催/参加しましたか？

□開催していない/参加していない □開催した/参加した
□わからない

Q4-6 過去3年間、地域の教育関係者向けに講演会/研修会を開催/参加しましたか？

□開催していない/参加していない □開催した/参加した
□わからない

Q4-7 過去3年間、教育関係者を含めたケース会議/ケア会議を開催/参加しましたか？

□開催していない/参加していない □開催した/参加した
□わからない

Q4-8 過去3年間、学校等に発作時対応に関する指導書を作成しましたか？

□作成した □作成していない □わからない

ご協力よろしくお願いします！！

担当：谷口 豪 E-mail: gtaniguchi@ncnp.go.jp

2022年度第1回てんかん診療支援コーディネーター研修会

開催月日 2022年8月7日（日）10時開始 ZOOMウェビナーで開催

10時～ てんかん診療支援コーディネーター研修会（各講演研修30分）

- 1 全国てんかん地域診療支援整備事業の現況 NCNPてんかん診療部 中川 栄二
- 2 てんかんの疫学 NCNP小児神経診療部 斎藤 貴志
- 3 てんかん外科 NCNP脳神経外科診療部 岩崎 真樹
- 4 てんかんと循環器疾患 NCNP循環器内科 瀬川 和彦

12時～12時半休憩

12時半～14時半

- 1 てんかんの遠隔医療 大阪市立総合医療センター 岡崎 伸
- 2 てんかんと睡眠、発達障害 山梨大学 小児科 加賀 佳美
- 3 成人のてんかんと発達障害 NCNPてんかん診療部 宮川 希
- 4 てんかんの看護 NCNP看護部 三澤 有紀